

令和6年度 第1回博物館協議会 (抄録)

日 時 令和6年5月21日(火) 午後1時30分～午後3時
場 所 安城市歴史博物館2階講座室
出席委員 高山 忠士 会長
加藤りせ子 副会長
松永 博司
荒井 信貴
市川とし子
平岩 政志
事務局 加藤 浩明 生涯学習部長
朝岡 一秀 文化振興課長
野上真由美 学芸係長
後藤麻里絵 主査
千田 佑香 主事
本部はる香 主事補
杉山 和良 主査
井上宗一郎 指定管理者
安祥文化のさと地域運営共同体総括責任者
石川 明良 指定管理者
エリアワン株式会社 取締役部長

次 第

- 1 あいさつ
- 2 協議事項
 - (1) 令和5年度事業報告
 - (2) 令和6年度事業計画(案)
- 4 その他

協議事項

- (1) 令和5年度事業報告

事務局	【令和5年度事業報告について説明】
指定管理者	【令和5年度事業報告について説明】
会長	事務局の説明が終わりました。質問等がございましたらお願い

	<p>します。</p>
委員	<p>令和5年度に博物館法が改正されて、今まで上位法が社会教育法だけだったのが、文化芸術基本法にもきちんと準拠することになった。その辺りの兼ね合いで、例えば市民ギャラリーとの共働などを画策しても良いのではないか。特に市民ギャラリーで開催された特別展「大正イマジユリィの世界」は、たいへん面白い展覧会だったので、博物館とギャラリーが共同歩調をとりながら事業を行っていけば、歴博も文化芸術振興を担っていることが示せると思う。</p> <p>また、これから博物館はどのような資料を集め、収蔵品をどのように紹介していくのか。博物館法でも博物館資料のデジタル化が追記され、積極的にアピールしていかなければならないが、歴博のホームページには収蔵品の紹介が一切ない。学芸員が収蔵品の調査解明をして、それが何年か経って展覧会につながっていくという、学芸員の顔が見える展示をしていただきたい。</p> <p>昨年度の出前授業の講師は偏りがみられる。若い学芸員に、館の性格、安城の町をきちんと理解してもらい、それをどの様に伝えるのかのトレーニングの場として、出前授業を活用してもらいたい。学芸員という職業は蓄積が大事なので、文化振興課で長い年月をかけて知識を付けてもらうべき。業務の割合を展覧会の開催が10%とし、残り90%の調査研究の部分をちゃんと確保しておくべき。新しく採用した学芸員達をしっかりと育ててほしい。</p>
委員	<p>「昭和の家族」展を2回見た。感想を言うと中年以上の女性が多かった。名鉄桜井駅の前の旧市街の写真の前で、観覧者が自分の子どもの頃を思い出すような会話をしていた。老夫婦がちゃぶ台について懐かしく話していた。</p> <p>4月4日付け中日新聞朝刊5面の「みんなの声」に、名古屋市在住の方が今回の展覧会の感想を投稿していた。市外・県外の人興味があれば見に来てくれる。焦点をどこに絞るかが難しいが、今回の展示は良い意味で見直した。</p>
委員	<p>昭和というテーマが良かった。なかなか他にない内容。北名古屋市の昭和日常博物館が昭和のものを集めて一時期話題になっ</p>

	<p>た。思い出を語り合うという、年配者が懐かしみながらいろいろ話をしていく回想法を北名古屋市では町ぐるみでやっているが、なかなか他にない。</p> <p>今回の展覧会の安城市域の昭和 30 年代の写真は、上手く展示をアレンジできていて、展示を見ながら話ができるのが良い。お年寄り子どもたちが一緒に来て、子どもたちにも昔の暮らしが伝わっていく。静かに見ましようではなくて、積極的に話ができる博物館という点を、もっとアピールしても良かった。</p>
委員	<p>展示にあった鳴海小学校という模型は、友人が名古屋市の鳴海小学校の卒業生で、すごく懐かしいと言っていた。やっぱり身近にあるものが展示にあると訴えるものがある。</p> <p>昨年博物館内で行われた子ども向けのマインクラフトを使った企画も良かったが、お城に興味のある子、戦国時代に興味のある子といろいろいるので、子どもの感想等を聞いてもらい、学芸員が相手をして話を膨らませたり等ができるの良い。</p> <p>本館の客層は 40 代以上の男性が多いと思っていた。今回も 60 代、70 代の年配の方が多くは多かった。皆さんいろいろな事に興味を持っているので、そういった声も取り上げていただきたい。</p>
会長	<p>「(2) 令和 6 年度事業計画 (案)」について、事務局からの説明をお願いします。</p>

(2) 令和 6 年度事業計画

事務局	【令和 6 年度事業計画 (案) について説明】
指定管理者	【令和 6 年度事業計画 (案) について説明】
会長	事務局の説明が終わりました。質問等がございましたらお願いします。
委員	<p>来年度の企画展「日本デンマーク」ですが、本館の常設展示を見ていくと、『新編安城市史』の成果を生かした展示がない。例えば考古の展示とか松平関係の展示では、安城市史の成果を展示に反映させているが、『安城市史』の近代の内容を生かしきれていない。「安城駅 120 年」展が良いチャンスだったが、成果を生</p>

	<p>かす展示にはなっていない。昭和 30 年代の社会科の教科書には出ていたはずで、「日本デンマーク」は我々より上の世代は大抵の方は知っている。その後の世代の方はあまり知らないかもしれない。安城市域は、就業人口の半分が農業だった時代の花形の、全国的な注目を集めた地域だった。その財産を生かさない手はない。『新編安城市史』の捉え方だけでもちょっと物足りない。安城は歴史のない町と言われてきた。岡崎は徳川家康。新美南吉でまちづくりをした時期もあったが、南吉は半田の人。しかし日本デンマークは安城しかない。それをどの様に生かしていくのかは、学芸員次第。家康ボランティアを立ち上げる時に、なぜ商工課はやらないのかと思った。学芸員が専門職として専門性を生かした展示をしていただきたい。「日本デンマーク」展で近代だけではもったいない。この言葉を核とすれば、戦前期の歴史も語れるし、マスコミの協賛も得られる。「震災を記録する」展の時、中日新聞には全面的に協力いただいた。協賛事業として、向こうから是非やらせてくれと言われるような運びにしてみたい。</p>
委員	<p>私も観光ガイドは観光協会か商工課で良いと思っていたが、商工課の担当者から聞いたのは、本證寺も安城城も文化財なので文化振興課が担当すべきとのこと。</p> <p>日本デンマークについて、ふるさとガイドは今年日本デンマークと明治用水を勉強する。私は昭和 20 年代の生まれで、日本デンマークについては学芸会でもやった。昭和 40 年代以降の生まれの人は日本デンマークのことを全く知らない。去年の家康ガイド 50 名のうち、24、5 名がこれからも関わっていききたいとのことだったが、殆ど市外から来た人。ボランティア全体でも、安城生まれ安城育ちは非常に少ない。日本デンマークという言葉は知っているも、明治用水や丸碧連合会、農業試験場、山崎延吉等が一体になって日本のデンマークを構成していることを順番に研修すると半年かかる。</p> <p>一般の市民は歴史博物館に勤めている職員は、全員歴史の専門家だと思っている。家康も土器のことも知っていると思っている。博物館そのものをもっと PR すべきで、町内会を回るなどもっと知ってもらいと良い。</p>

委員	<p>「日本デンマーク」展については、文化財保護の担当ともきちんと調整すべき。日本デンマークに関する建物も近年次々に姿を消しており、市は何故あれを潰したのか、となってはいけない。</p> <p>今、文化庁が積極的に近代化遺産調査・保護をやっている。市町村レベルでも、「日本デンマーク」を積極的にアピールすることが大切。平岩委員が言ったように、明治用水との連携、農協との連携は不可欠。千載一遇の、百年に一度のテーマと考えられる。</p>
委員	<p>自分が小学生の時には多角形農業、日本のデンマークについて習ったが、郷土読本「あんじょう」の内容は、だんだんスリムになっていき、自分が就職した平成に入った頃は、日本のデンマーク、多角形農業、板倉農場といった言葉は掲載されず、社会科の研究授業等で触れる程度になっている。地域の方が昔は「日本のデンマーク」と言っていたのを、「日本デンマーク」と切り替えたのを子どもが知っているのも、ある程度は浸透しているかもしれないが、現状ではデンパークという言葉ぐらいしかイメージできない。</p> <p>この展示も含めて、どうする家康の時に、様々な博物館との連携で、他館のいろいろな展示をいわゆる横のつながりで見ること、いろいろな家康が見られた。例えば展示の方法によって、同じものを並べても全く意味が変わってくる。そういった視点で言った時に、安城という市域というより、明治用水流域の地域という、そこのタイアップが一年あればいろいろイメージできると思う。</p> <p>前回のどうする家康の時に思ったのは、もっと他の頑張っている団体にも売り込めば良いのにというところ。せっかく日本デンマーク 100 年を取り上げるのであれば、上手く農協など民間の力を巻き込んでいくことが考えられる。</p> <p>三河地震も同じで、学校教育課に協力してもらって校長会等でアピールをしてほしい。</p> <p>2020 年の時にアクサ生命とユネスコの防災・減災教育のプログラムに明和小学校が応募していて、三河地震を取り上げた。学校にある資料から被災して亡くなった児童を取り扱った。私が明治を中学校の時に劇にした。二本木小の 5 年生も総合学習で防災教</p>

育をやるが、三河地震は教諭も触れられない状況である。日本デンマークも三河地震も、歴博が過去の資料を展示して、警鐘を鳴らす役目ができるが良い。

明治航空基地のパイロットであった方の話を聞いた時に、子どもは、「何故当時誰も止められなかったのか。」と聞くが、「そういう時代だったから行くんだ。でも自分だっていやだった。」と言うと、子どもは感覚で分かるようだ。そこが展示として出てくると良い。この地域の博物館だからこそ、この地域に伝えるべきものができるが良い。「終戦 80 年」展もそんなところを大事にしてもらいたい。

指定管理者と博物館が、博物館のネットワーク、あるいは地域のネットワークを上手く利用してもらいたい。

今年度も引き続き夏休み自由研究相談会、歴史のひろば展に協力するが、学校教育課から 2024 年問題でバスが取れないので、見学学習を 2 学期にすると通知があった。バスの予約や予算取りなどを、昔は学校教育課が努力したはずだが、今はそれが無い。先日も見学学習の推進協議会でも話したが、いい手はなかなか浮かばない。水のかんきょう学習館がバスを無料で用意してくれるので申込みしたが、予算の上限に達したので行けなくなり、結局電車で行くことにした。修学旅行も日程の変更を余儀なくされている。バスの問題については今後も検討してほしい。

安城の小学 3・4 年生、6 年生の副読本「あんじょう」は、予算が付けば令和 8 年度から iPad 上で見るデジタル教科書に変わる。例えばからくりボックスのようなアプリで資料が閲覧できたり、あるいは、例えば国立歴史民俗博物館のようにデジタルの絵画を使った教材を作れば、人面文壺形土器がぐるりと回るとか、ヘラ描き順とかを示すこともできるかもしれない。それから難しいかもしれないが、市内小中学校で使っている Wi-Fi が公共施設でも使えるといいが、なかなか難しいと思うので市のもも含めて考えられるといい。

今年度の豊田市では中学校の博学連携、豊田市博物館の開館にあたり、社会科の授業の実践化の模索をしている。刈谷市歴史博物館が開館してから博学連携に関しては、社会科教員を指導主事の一下の立場に置いて、一度人事異動で入れて、その人が次の

	<p>年に市教育委員会に異動して指導主事になる。それが良いのかは分からないが、他市にも同じ例が多い。歴博OBも含めて社会科に造詣が深い人、関心のある市の職員を含めて、そうした方々に子どもに合った教材を開発してもらいたい。博物館に子どもが来た時に、いわゆるハンズオンとかアウトリーチとかを含めた活動をやれると良いと思う。他市は安城の学校と博物館の連携を見ている。そこに教務動向も連携していたりする。人手が足りないなら、市民の力、OBの力等を借りながら上手くやっていく、例えばガイドボランティアなど、人の力を上手く使うシステム作りができるが良い。</p> <p>是非職場体験学習をもう一度宣伝してほしい。夏休みに向けて校長会で説明してもらえると、校長からも伝えられる。</p>
委員	<p>「国絵図の世界」展は、江戸時代の始めの頃なので、三河地方がどの様に描かれているか非常に興味がある。それから「大災害」展は全国的な災害ではなく、開催期間を1月19日までにしたということは三河地震、東南海地震を大規模に捉える予定か。</p>
事務局	<p>以前特別展で三河地震を取り上げている。三河地震ももちろん取り上げるが、安政江戸地震とか、近代の濃尾地震とかを網羅的に捉えて、大災害が起きた時の状況、例えば津波や地滑りとか、なかなか皆さんが知らないような被害の状況や、更にその後の復興の様子を紹介する展示にしていきたい。</p>
委員	<p>三河地震とか東南海地震については、私も前に聞き取ったこともある。貴重な意見が多くて、町内会に記録が残っていると思う。安城市の博物館としては、そういった地域のものも大事にしていきたい。</p> <p>「終戦80年」展は、戦争後の80年を捉えるのか、戦前・戦中の世界的な状況も捉えるのか、どこをどの様に取り上げる予定か。</p>
事務局	<p>5年前に大規模な特別展で、戦争に行く立場の人々について取り上げている。その前は、子どもたちが戦争をどのように捉えたかを展示した。まだどのような視点でやるのかは全く決まっていない。今後学芸員と協議して決めていく予定。</p>
委員	<p>地域から見てというところも取り上げていただきたい。</p>

委員	<p>展示をする場合に、企画展示室だけでは足りない場合がある。その場合にギャラリーまで使ったこともあるが、そのような場合は、かなり早めにアウトラインだけでも決めておかないと、施設利用申請が間に合わない。</p> <p>それから、例えば「国絵図の世界」展でも、前任の学芸員が異動して担当できない。学芸員あつての展示なので、もっと長いスパンで学芸員の育成のことを考えて人事異動を行ってほしい。豊田にも新しく博物館ができて、これからは安城も近隣市の博物館と比較される。どんな組織も人が重要なので、その辺りを一番考えてほしい。</p>
委員	国絵図の展示はギャラリーを使うのか。
事務局	歴博だけ。大型の資料になるので点数自体は多くない。
委員	参観者に対してどのような見せ方をするのか。やはり展示方法がいろいろあると思うが、それがかなり難しいと思う。
委員	展示室中央の壁は取れるのか。
事務局	一つのオープンスペースにできる。
委員	大きな国絵図をどのように展示するのか。
事務局	展示造作については、前任者も含めて今の担当学芸員と協議し、業者等に発注していく予定。国絵図が一面に広げられるように考えたい。
会長	<p>それでは、協議事項については、よろしいでしょうか。</p> <p>これをもちまして協議事項を終了いたします。ありがとうございました。</p>
事務局	慎重審議、どうもありがとうございました。